

出演していただけたときには心の底から感動しました。

時かけは今年の夏の終わりにも観たけど、やっぱり最高です。夏に大きな雲が空に浮かぶと、「細田守雲”が出てるな〜」っていつも写真を撮ります（笑）。

『ハイスクール・ミュージカル』（2006）

私はミュージカルにあまり興味がなかったのですが、「ミュージカルすごおおお！」となったきっかけの作品です。これを観たときは私も学生だったのでごく共感できる部分が多かったけど、舞台がアメリカということで生活や学校の雰囲気などは自分とかけ離れていて、かなり憧れの眼差しを向けていました。運命的な出会いをした主人公の男女が同じ高校でミュージカルをやることになるストーリーで、曲もとにかく素敵！ 見えるものすべてがオシャレで可愛かったし、人間関係のギクシャクや恋愛のシーンでは胸がドキドキして、「ぎゅー」って苦しくなりながら画面に張りついてました。

この作品はシリーズになってるから、リリースの日は学校帰りに爆速でショップへ走り、目をキラキラとさせながらレジに向かって、「今回はどんなストーリーになっていて、どんな曲が流れるんだろう」ってワクワクしていました。私は吹き替え版と字幕版を交互で永遠に観ていて寝るときも流していたので、映画で使われている英語が勉強素材でした（笑）。

ちなみに、ザック・エフロンが演じる主人公の男の子、トロイ・ボルトンにガチ恋していたので、中学校の卒業アルバムに「ザック・エフロンと結婚する」って書いたり、ずっと欲しかったフェンダーのテレキャスターを買ったときにはそのギターに“ボルトン”という名前をつけたりしていました（引かないで……Part2）。

12月にとうとう30歳を迎えます！

ほかにも影響を受けた作品はたくさんあるけど、自分は子どもたちが仲間と力を

合わせて何かを成し遂げる系が好きなのかな！ 最近の作品でいうとNetflixオリジナルドラマ『ストレンジャー・シングス 未知の世界』は音楽も含め、本当に本当に最高ですね。

今はストーリーだけに注目するんじゃなくて劇中の音楽もよく聴くようになりました。「音楽を担当している人はこのシーンをこう解釈してこのメロディーをつくったのかなあ」とか「この不穏なシーンをこの音で表現するのやばい」とか考えています。映画を観て泣く瞬間の大体は主題歌が流れるときだったりするので、音楽の偉大さを感じます。私も何度か映画の主題歌などを担当させていただいたことがあるけど、それが本当に嬉しくて、これまた何度も見返しました。また音楽で映画に関われたらどんなに嬉しいことか〜!!!

来月はとうとう12月！ 私！ 30歳になります!! ぎゃー——！ 実感ない！ やばい！ 自分を盛大にお祝いしてやりたい！ そしてなんといっても12月といえばクリスマスなので、次回はクリスマスが嫌だった私が、クリスマスが好きになるまでのお話などを諸々！ ではまた次回お会いしましょう♡